

[05_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467996>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (1), 1972-02-22. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

原子核関係のプログラム群の書き替え作業終了のお知らせ

広報vol.4 No.3でお知らせしました東大センターライブラリのうち、原子核関係のプログラム群を書きかえる作業は、このたび一応終了しました。

以下に、原子核関係のプログラム群の一覧表をあげますが*印のついたものは今回新たに追加登録されたものです。

(イ) RB形式のプログラム

A. LIBのファイルに登録されていますので、\$PLIBRUNのマクロでパラメータ
FILENAME=A. LIBの指定をすることにより呼び出せます。

| 登録番号 | I D コード | 題 目 |
|------|--------------|--------------------------|
| 27 | Y3/QC/Z/DB01 | クレプシュ・ゴルダン係数 |
| 28 | Y3/QC/Z/DB02 | ラカー係数 |
| 29 | Y3/QC/Z/DB03 | 9-J係数 |
| *38 | Y3/QC/Z/CA01 | 計量修正による関数の極小点発見 |
| *39 | Y3/QC/Z/DA02 | B C S 方程式 |
| *41 | Y3/QC/Z/DB05 | 調和振動子波動関数によるテンソル力の二体行列要素 |

(ロ) EB形式のプログラム

A. LIB. EBのファイルに登録されていますので、\$RUNのマクロでパラメータ
FILENAME=A. LIB.EB, EBNAME=実行形式プログラム名, UNIT=E. 041, VOLNO=E00041
の指定をすることにより呼び出せます。

| 登録番号 | I D コード | 題 目 | 実行形式プログラム名 |
|------|--------------|-------------------------|------------|
| 25 | Y3/QC/Z/AA01 | 光学模型による弾性散乱の解析 | ELASTC |
| 26 | Y3/QC/Z/AA02 | DWBAによる直接反応の解析 | DWBA1 |
| *36 | Y3/QC/Z/AA03 | DWBAによる直接反応の解析 | DWBA2 |
| *37 | Y3/QC/Z/BA02 | 座標空間表示の核力ポテンシャルによる二核子散乱 | NNS |
| *40 | Y3/QC/Z/DA03 | 乱雑な位相近似 | RPA |

プログラムの使用方法などについては、東京大学原子核理論プログラム管理機関発行の使用方法
説明書を参照してください。

(連絡先)

東京都北多摩郡田無町2970

東京大学原子核研究所理論部内 核研理論プログラム管理機関

久保 謙一 (TEL 0424-61-4131 内線 225)

なおプログラム提供に関して御尽力いただいた東大センター、京大センターの各担当者の方々並びに書き替え作業を行なっていただいた九大理学部上村正康氏に、この紙面を借りて、感謝の意を表します。

高次代数方程式の根を求めるサブルーチンの開発終了のお知らせ

利用者からの申し出により、センターのライブラリ開発計画として昭和46年9月より開発を依頼しておりました高次代数方程式の根を求めるサブルーチン (GRAEFF MODIFY法)が、このたび完成いたしました。開発していただいたのは、久留米高専の杠顕一郎氏です。

高次代数方程式の根を求めるサブルーチンは、現在、富士通提供のSSLの中にも、BAIRSTOW法によるもの、JARAT MODIFY法によるものなど数種がありますが、この杠氏のサブルーチンは、従来のサブルーチンに比して、時間はかかりますが、重根、近接根などを含む方程式では精度がよいようです。

このプログラムはQS, PLIB, TESTのファイルに登録し、現在種々テスト中ですので、どしどし使ってみてください。使用法その他に関しては利用の手引「ライブラリ編」で公表する予定ですが、とりあえず図書室、プログラム相談室でご参照ください。

プログラムの開発をしていただいた杠氏には、この紙面を借りて感謝の意を表します。